

第191回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1 [丸数字は予想配点、合計55点]

問1

全社的売上高 [ ④ 948,000 ] 千円 全社的営業利益 [ ④ 218,000 ] 千円

問2

A事業部 [ ④ 88,000 ] 千円 B事業部 [ ④ 180,000 ] 千円

問3

個別固定費中に、事業部長にとっての管理不能個別固定費が含まれていれば、事業部長の業績評価に利用することは不適切である。 ⑤

問4

A事業部 [ ④ 8.8 ] % B事業部 [ ④ 15 ] %  
別解：9 %

問5

(  採用 ) 不採用 ) 解答を○で囲むこと

理由：現状のROIは8.8%であり、投資案Zを採用すれば9.04%に上昇するため。 ⑤

別解：投資案Zの投資利益率10%が、現状の投資利益率9%を上回っているため。

問6

資本コスト率は利害関係者からの最低要求利益率であり、投資案Zの投資利益率10%が資本コスト率12%を下回っていることから、A事業部長の意思決定には問題があると指摘できる。 ⑤

問7

指標名 ( 残余利益 ) ④

採用しない場合 [ ④ -32,000 千円 ] 採用した場合 [ ④ -37,000 千円 ]

問8

目標達成売上高 [ ④ 567,797 ] 千円

問題2 [丸数字は予想配点、合計45点]

問1

活動基準原価計算は、正確な製品原価の算定と製品を生み出す活動に焦点を当てた計算方法であり、価格決定、製品ミックスの決定、製品別・顧客別の収益性分析、製品の導入・撤退の意思決定などに有用な情報を提供できる。 ⑤

問2

(単位：円)

活動名	活動原価	X製品への配賦額	Y製品への配賦額
段 取	[ ③ 298,000 ]	[ ③ 119,200 ]	[ 178,800 ]
機 械 関 連	[ ③ 3,600,000 ]	[ 2,700,000 ]	[ ③ 900,000 ]
出 荷	[ ③ 325,000 ]	[ ③ 227,500 ]	[ 97,500 ]
そ の 他	[ ③ 1,920,000 ]	[ 720,000 ]	[ ③ 1,200,000 ]

(単位：円)

	X製品	Y製品
月 末 仕 掛 品 原 価	[ ② 602,672 ]	[ 285,156 ]
完 成 品 原 価	[ 3,350,028 ]	[ ② 2,302,144 ]
当 月 着 手 分 の 完 成 品 単 位 当 た り 製 造 間 接 費	[ ② 7,533.4 ]	[ ② 9,505.2 ]
前 月 製 造 間 接 費 単 価 (いずれか適切なほうに○)	○上昇① 下落	上昇 ○下落①

問3

(単位：円)

当月着手分の単位当たり低減額

X 製 品	[ ③ 75.15 ]
Y 製 品	[ ③ 424.5 ]